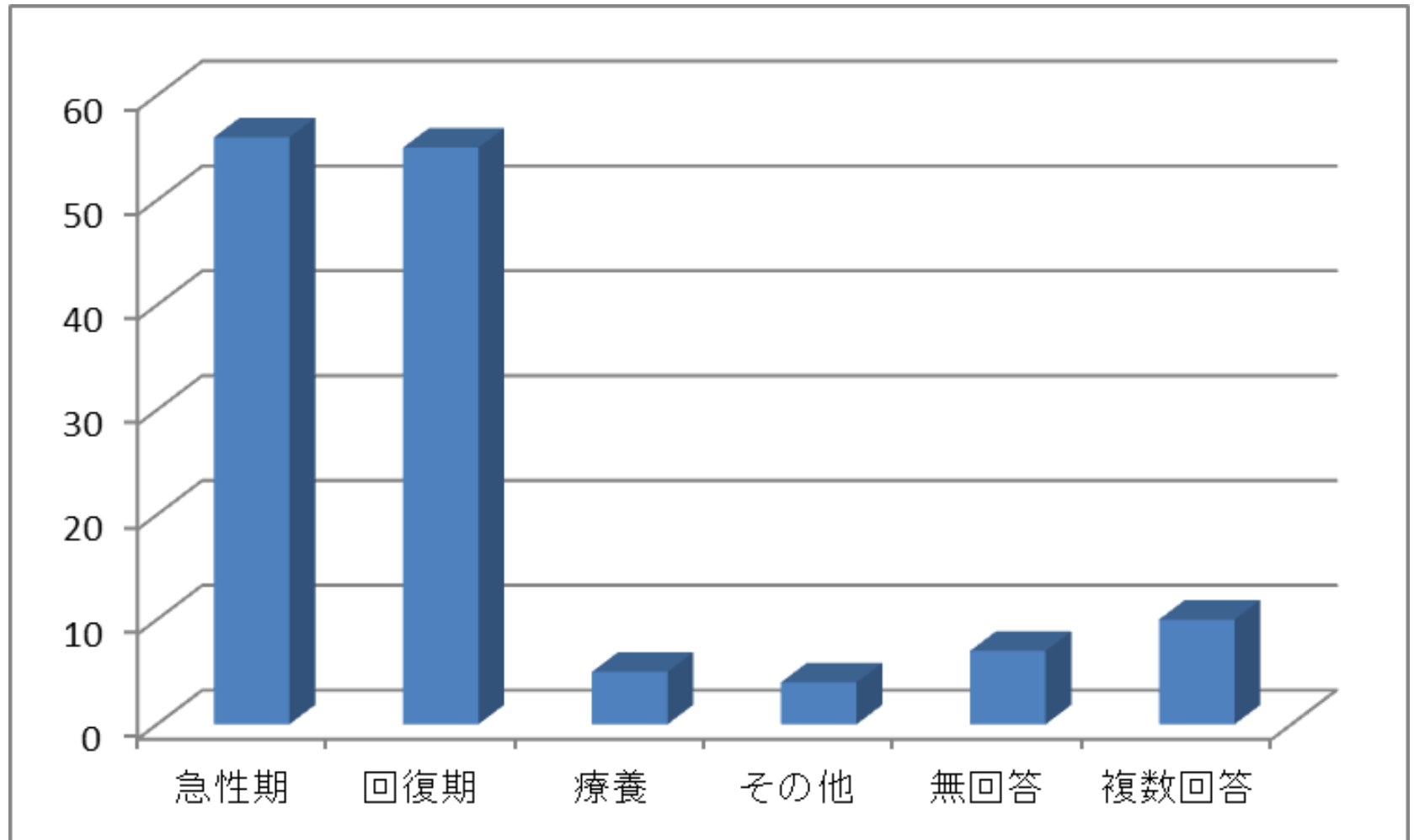


第15回
横浜脳卒中・リハ連携研究会
(Y-CIRCLE)

アンケート結果

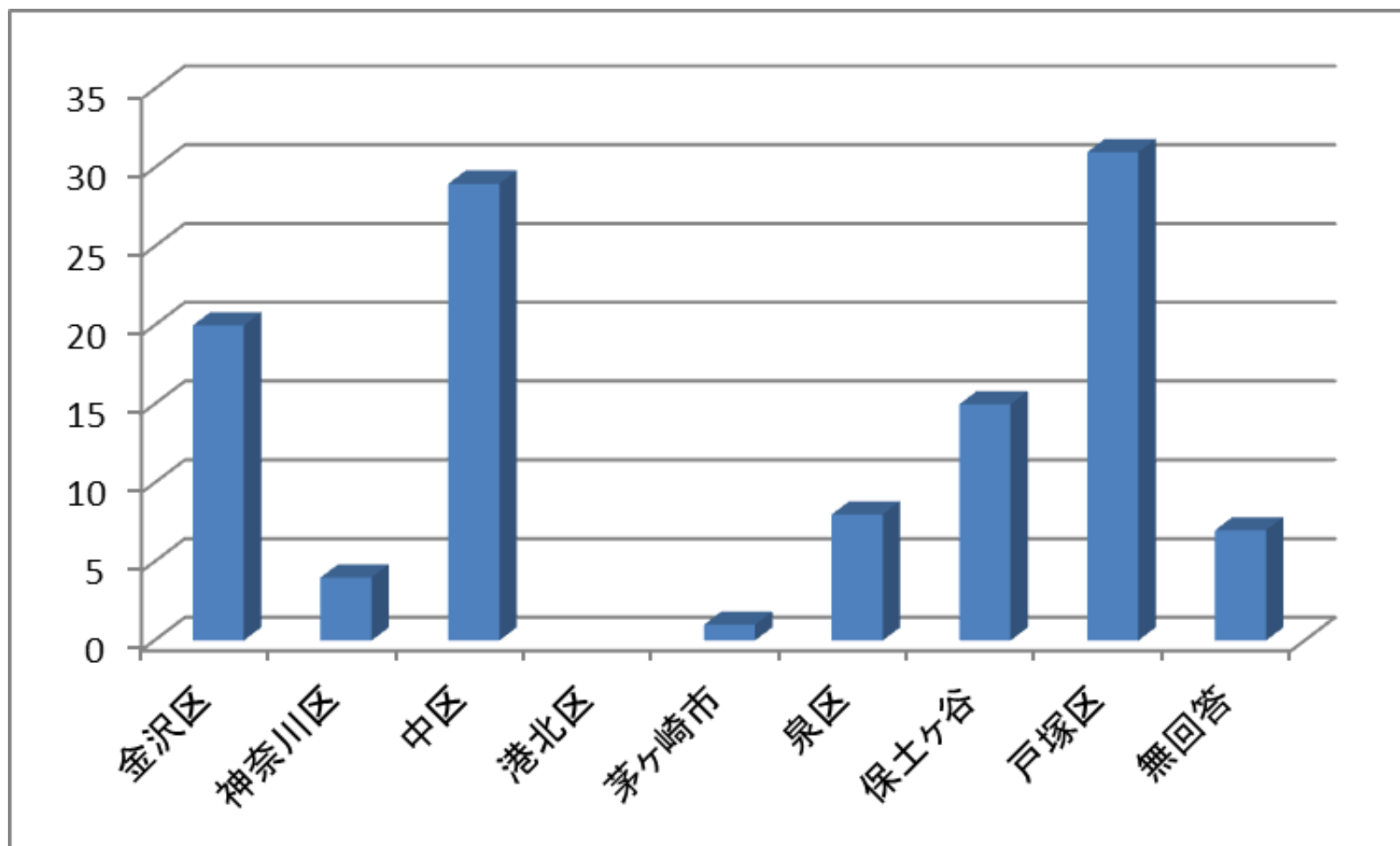
(回収枚数 115)

勤務(担当)病棟



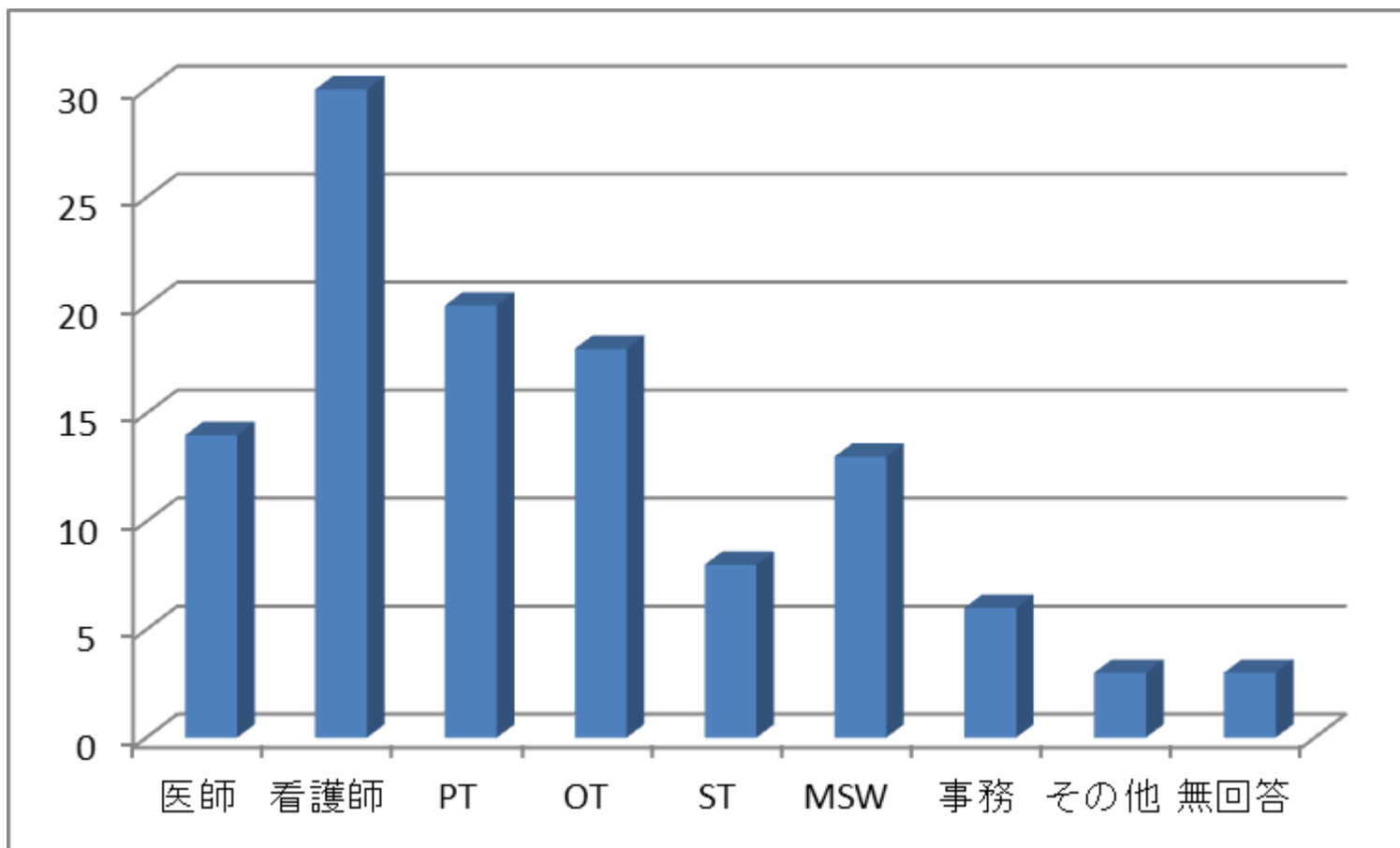
複数回答 10 (回収枚数 115)

施設住所



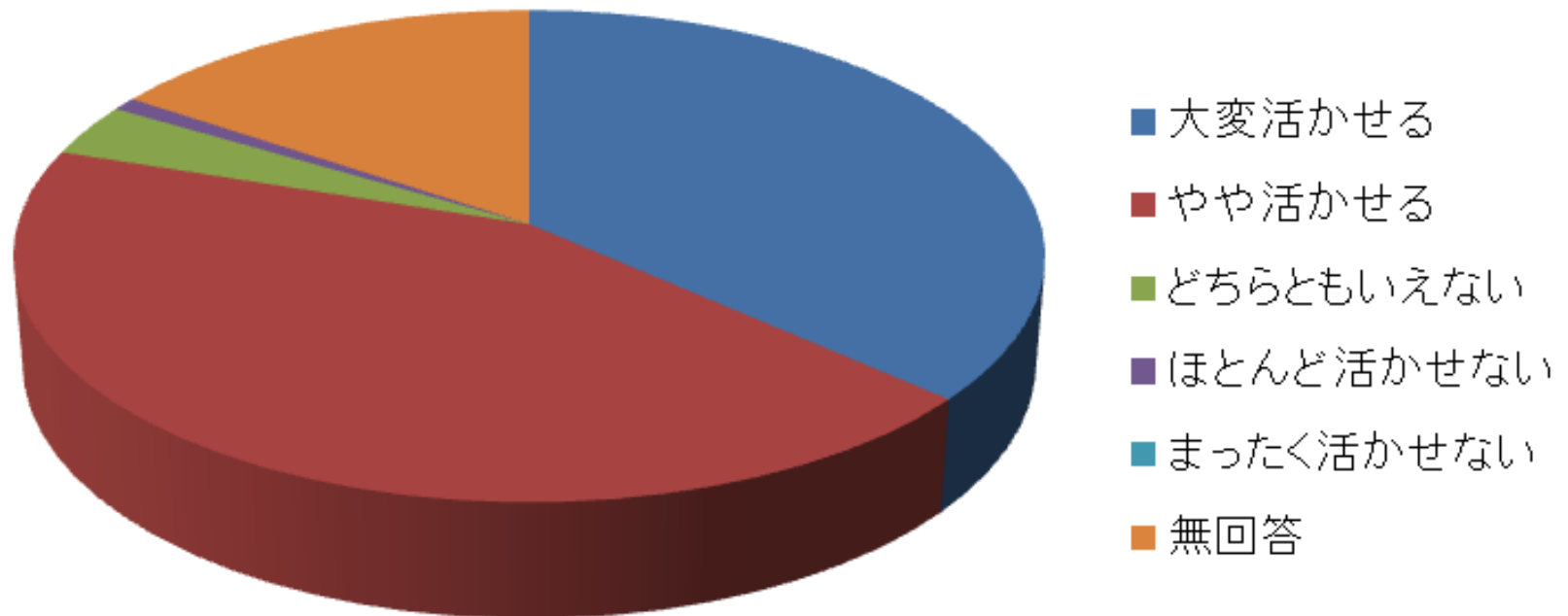
(回収枚数 115)

職種



(回収枚数 115)

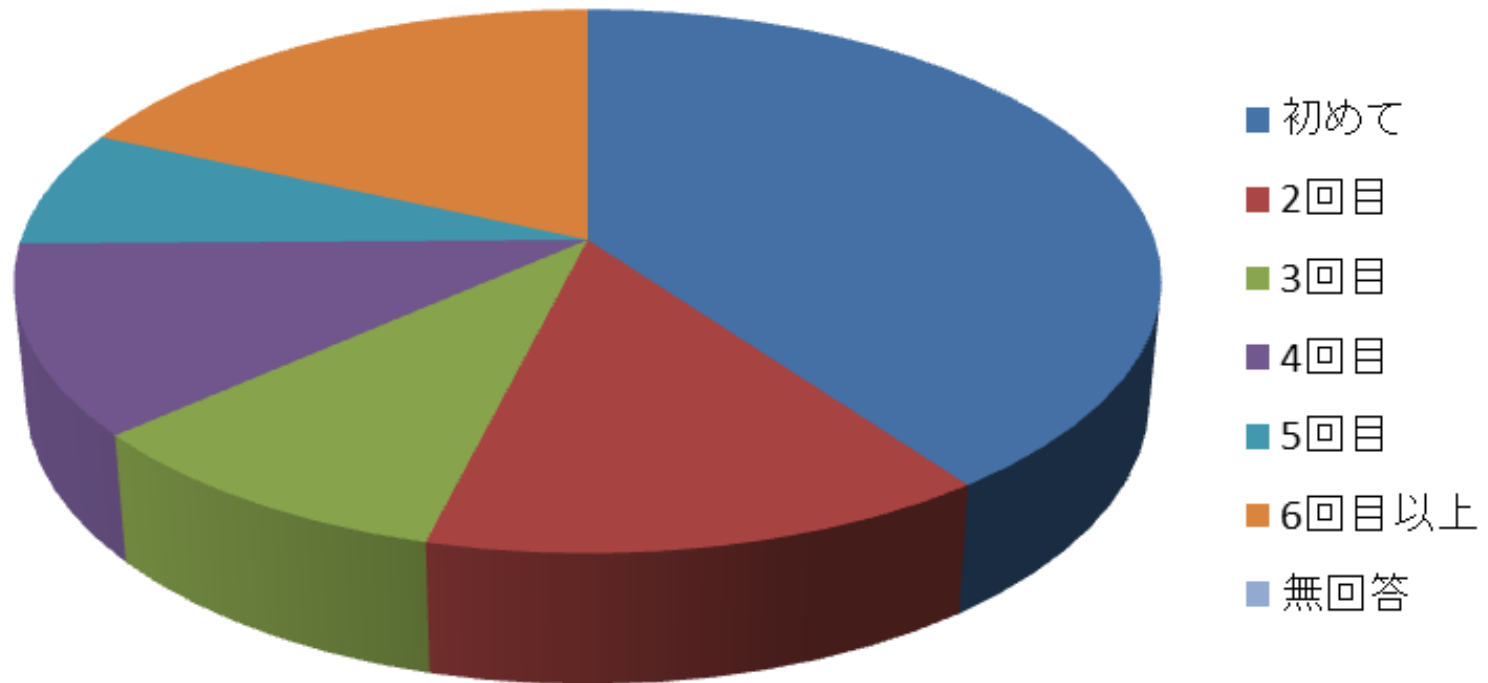
研修内容の業務貢献について



大變活かせる	やや活かせる	どちらともいえない	ほとんど活かさない	まったく活かさない	無回答
42	50	4	1		18

(回収枚数 115)

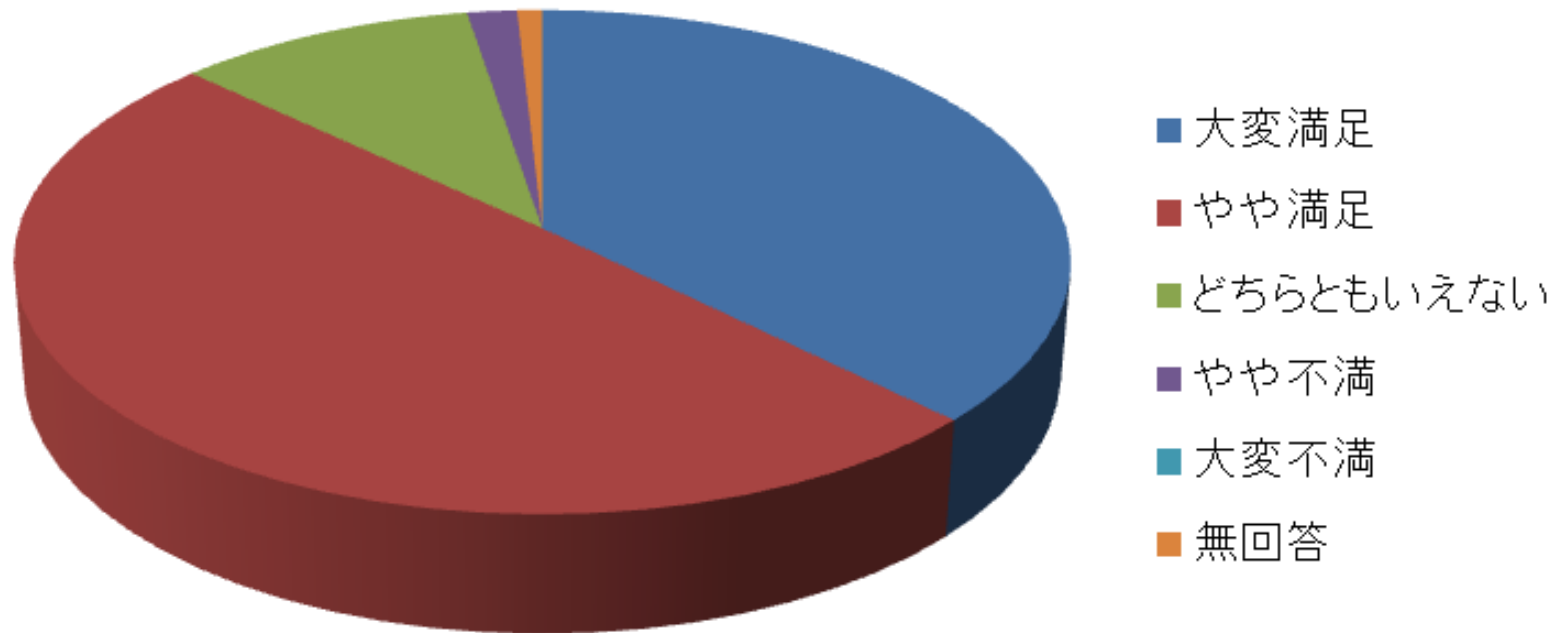
今回は何回目の参加となりますか



初めて	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目以上	無回答
46	16	11	13	8	21	

(回収枚数 115)

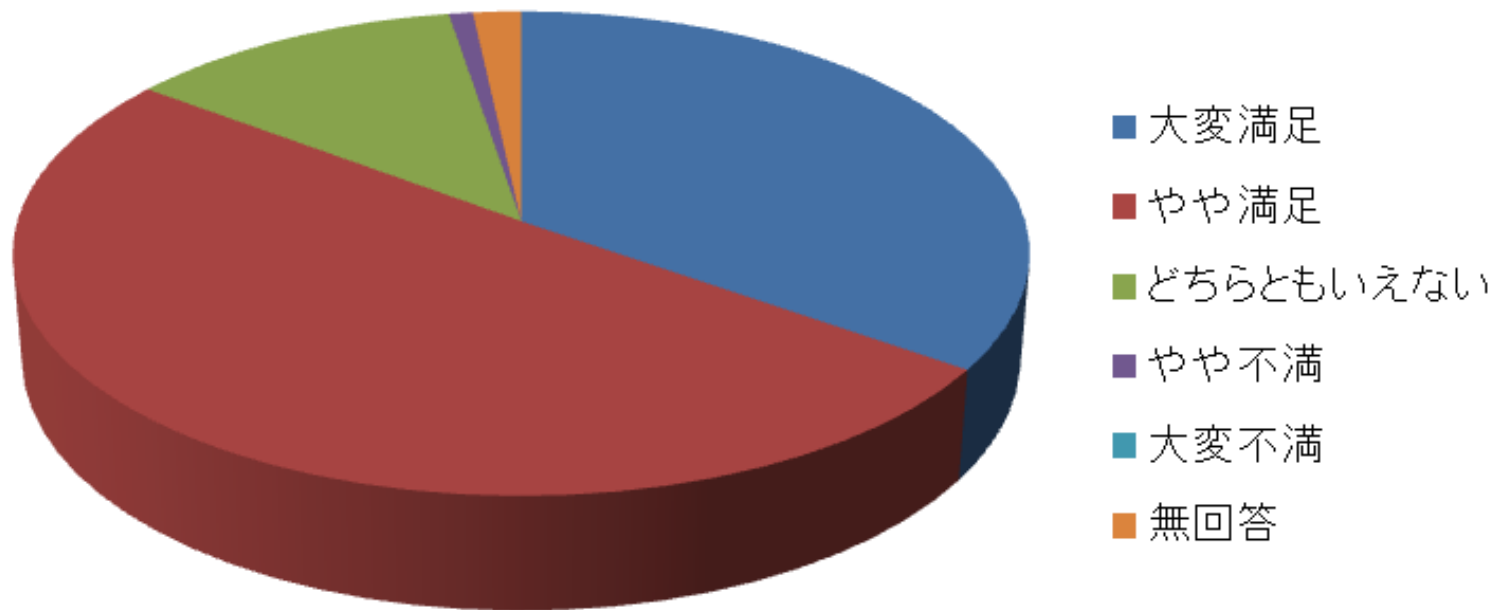
研究報告について



大変満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	大変不満	無回答
43	57	12	2		1

(回収枚数 115)

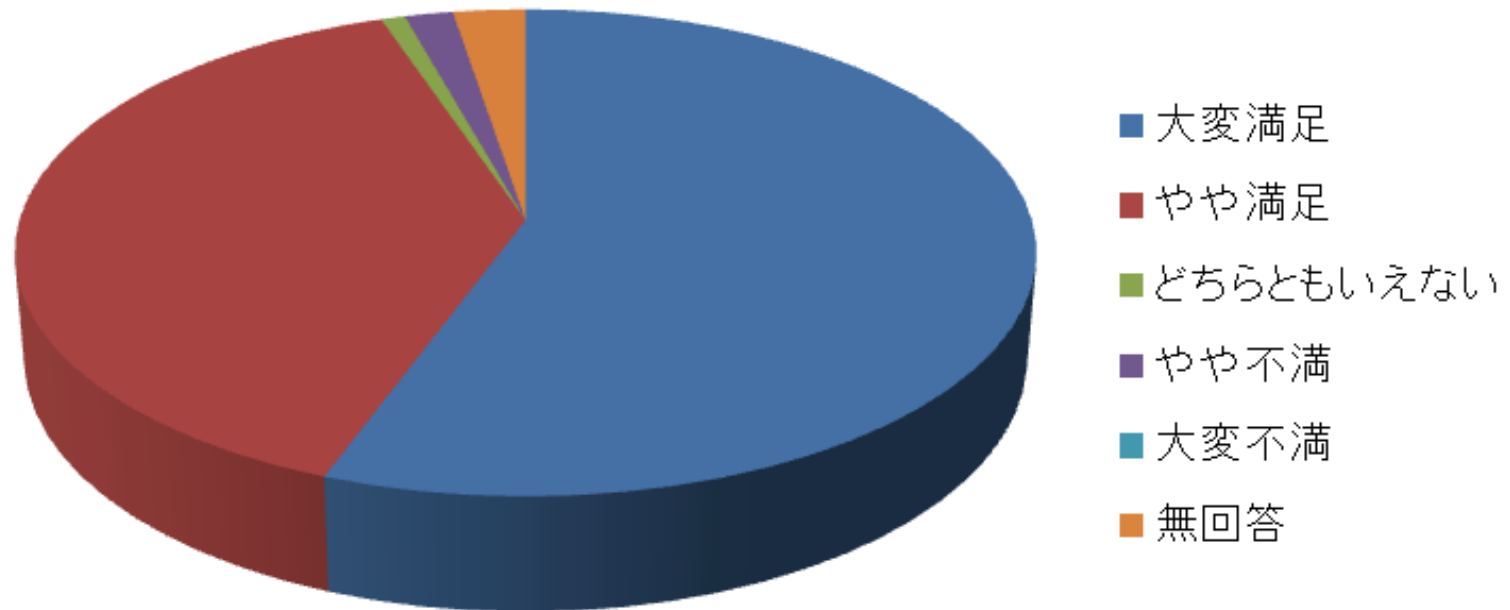
症例リレーの満足度



大変満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	大変不満	無回答
40	58	14	1		2

(回収枚数 115)

特別講演の満足度



大変満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	大変不満	無回答
64	45	1	2		3

(回収枚数 115)

(質問) ●研究会に参加してどのような点が良かったですか

精神科医のチームの参加についてはとても重要だと感じた
精神科医の先生の話聞いた
特別講演が今まであまり意識していなかったうつに関する事だったので大変興味深かった。勉強になりました。 X3
特別講演がとても参考になった、スクリーニングを導入していきたい
うつやアパシーといった精神の分野で貴重な講演が聞いたこと x4

他施設の考え方が参考になる 他施設の取り組みが分かってよかった x9
色々な病院の方々の顔が多少分かった
顔が見え、地域での医療の重要性を再認識できる
連携していく上で顔の見える関係になれることは大切だと思う
具体的な各職種の介入方法・状況について知ることができたところ

Ptのhopeを実現する為と具体的に何が必要でどのように援助していったのかが分かりやすく理解できました。X2
普段気になる患者の意欲について学べた所

症例リレー : Ptの経過がわかりやる気につながった
様々な点から症例を検討できる点
症例の具体性
重症例のリハ経過がみれたこと

回復期治療の方法などを見直せました
急性期での治療、看護、リハなど知らなかったことを知ることができた x2
急性期、回復期の経過を知ることができた x8

Drによるフィードバックが勉強になりました

あたらしい知識を得ることができた 新しい視点を持ちました x5
情報交換や最近のトピックスがわかる

(質問) ●研究報告について感想をお書きください

Ptに合わせたリハビリを院内だけでなく、院外、退院後の生活に向けてリハビリによって、Ptのホープが近づけられることが分かった。
現実を知ったPtの心理的なサポートや体的サポートが大切だと思った。

患者様のhopeに対し医療介護が連携して対応していければ良いx2

hopeのために外出支援を積極的に行っていることが患者さんの喜びにもなるし、自信にもなると思いました x2

患者さんのhopeに沿って院外を出てリハビリをしており患者さんに寄り添っているのが伝わった

Ptの希望に沿ったリハビリの提供は中々難しい中、取り組んでいられる所がすごい。自院でも行っていきたい。

卒業式についていくのはおどろいた 通勤についていくところまで介入するのはすごいと思った x2

退院支援の取り組みとしてどこまでやるのが良いのか考えさせられました。

生活環境に合わせたリハビリ訓練の可能性の深さや必要性について改めて感じる事ができた

改定により院外でのリハビリがコスト算定できるようになったタイミングであり勉強になりました

実際にIADL訓練を行うことでの効果がよく理解できた

他の回復期のHPの受け入れ患者の重症度、また支援方法など

色々なリハビリの取り組みをもっと聞きたい

他職種との交流

もっと掘り下げられるとなおよし

(質問) ●聞いてみたい症例リレーのケース

在宅の状況、訪問看護からの報告

在宅後の介護との連携 急性期⇒回復リハ⇒在宅リハ OR 通所

医療依存度が高い方の急性期⇒回復期⇒社会復帰について

忌憚のない指摘をよびこめるケース

生の意見交換があるような症例リレー

合併症を発症したケース、他科と連携したケース

頭部外傷

知っている患者のケース

認知症の方に対するリハビリ

認知機能が低下しているPtの在宅復帰した症例

ALSなどの神経難病のケース

再発予防第三次予防に対する連携取り組み

家族やサービス等、周囲との連携をしていった症例

看取りケース

大幅に方針が変わり苦慮したケースについて

独居で生活されていた方の在宅復帰について

対応が困難な症例をあげてそれに対して会場内とディスカッションができれば

困難ケースと言われるケースについてのリレー 症例として社会背景が複雑なケース

(質問) ●聞いてみたいテーマや講師がいればお書きください。

高次脳機能障害の最新知見について

役人

Neurorehabilitation

失語の人に対してどう意欲を引き向けていくのか

半側空間無視または失行について、森岡周先生に聴いてみたい

脳の可能性について

今回のような脳卒中から派生した症状についての治療について拝聴したい

石川先生、急性期と回復期のスタッフがより深く連携をするためにどういった取り組みが必要か

(質問) ●どのような点が改善されれば次回も参加したいですか

時間を短くしてほしい。

曜日を金曜にしてほしい

もう少し発表時間に余裕があり、早口な発表でないと、ききやすいと思いました

もう少し早めの開始時間だとよい x2

本会を1時間位にしていただけると懇親会も参加できるのですが現状は難しいです

食事がおいしい

資料(不可情報)の充実

本日の予定表があるとよいのではないかと感じました

特別講演の講演時間が短縮されるといいなと思いました

照明がやや暗いため眠くなりやすい

●その他・要望等ございましたらご自由にご記入ください。

内容・時間配分が良かった

2時間の会に休憩は必要ないと思います

寒かったです。エアコンがききすぎで寒かった x2

ありがとうございましたx2

リレー症例は可能であれば動画もあるとイメージがよりふくらみます

会場が駅近だとありがたいです